

審査員講評(日諸 博美先生、岡本 真梨先生)

○小学校低学年の部

<p>最優秀賞</p>	<p>・レタリングの文言のとおり、たくさんの生き物たちの暮らす森や川の中の様子が、色づかいを工夫して美しく描かれています。空には鳥やトンボたちが幸せそうに飛び交い、川の中には、魚たちやヤゴ、カニや貝、たくさんの生き物たちが、それぞれ良く特徴をとらえて描かれています。このように生き物たちが幸せに暮らしている自然をみんなで守りましょう。</p> <p>・美しい環境でしか見られないカワセミやヤゴなどをよく観察し、羽の模様や魚の鱗など、隅々まで丁寧に描いています。木々の葉を点描で表したり、川底の石の色を変えて塗り分けたりするなど、細部にまでこだわった力作です。水彩絵の具の透明感が効果的で、森や川の澄んだ空気を感じさせてくれます。</p>
<p>優秀賞</p>	<p>・大きく波打つ新潟の海が美しく描かれています。海の中で暮らす魚たちがよく観察して描かれ、魚たちが仲良く話し合っているようにさえ感じます。これらの生き物たちは新潟の海で暮らす生き物たちに違いありません。こんな生き物たちが幸せに暮らす美しい新潟の海をみんなで守っていきましょう。</p> <p>・薄く塗られたポスターでありながら、背景の配色を工夫して塗り分けをしたり、遠くからでも目立つ文字の描き方をしたりするなどの工夫が見られます。柔らかい印象のポスターですが、よく観察して丁寧に描かれた新潟の海の生き物たちから、作者の「美しい海を守りたい」という強い気持ちが伝わってきます。</p>
<p>優秀賞</p>	<p>・「川をよごす大きなゴミ」、画面いっぱいに大きなペットボトルが、透明感が感じられるようとても良く工夫して描かれています。ボトルが画面いっぱいに大きく描かれた分、川の中に暮らす魚たちや昆虫、ザリガニが画面の中で息苦しそうに感じてしまいます。川の中の生き物たちが気持ちよく暮らすことができるようゴミを捨てるのはやめましょう。</p> <p>・大きな透き通ったペットボトルが印象的で、思わず目を止めてしまう作品です。ゲンゴロウの住む澄んだ川の中にも人間が捨てたゴミがあり、そのゴミによって生き物たちが苦しむ様子が描かれています。生き物がよく観察して描かれているほか、ペットボトルを斜めに大きく入れるなどの工夫が見られる表現力豊かな作品です。</p>
<p>全体</p>	<p>・のびのびとした勢いのある作品がたくさん見られました。生き物たちの表現にも、低学年の子どものらしい工夫が伝わってきて好ましく感じました。</p> <p>・環境保全について、考えたり感じたりしたことを、身近な生き物たちを題材にして素直に表現した作品がたくさん見られました。</p> <p>・小学校低学年らしく、作品に自分を描き込んだり、生き物に乗るなどして一緒に楽しむような表現をしたりする作品が見られました。文字を大きく入れるだけでなく、背景の色によって見えにくくならないよう、文字を縁取りして別の色で塗って目立たせるなど、絵と文字をどちらも「伝えるための大切な要素」として大事に表していました。</p>

○小学校高学年の部

<p>最優秀賞</p>	<p>・「自然は人間の道具じゃない」レタリングの文言が目に飛び込んできました。伐採され切り株だらけになった森では、クマの親子が途方にくれているように見えます。暮らす場所を奪ってしまったトラックをサルは、ジッと見つめています。こちらを向くシカは私たち人間に何かを訴えかけたいのでしょうか。そのように自然を破壊して作られた人間の住む街が画面上部に暗く沈んだ姿で描かれることによって、人間たちのしてきたことについて考えさせてくれます。</p> <p>・マンガのコマ割りのように分割されたおもしろい構図です。それぞれのコマには、人間が広範囲に森林を伐採したことで住処を失った森の動物たちの悲しむ姿がよく表されています。作品上部に描かれた街のビル群や、ストーリー性を感じさせる描き方など、随所に個性や工夫が詰まった作品です。</p>
<p>優秀賞</p>	<p>・作者らしい工夫で丁寧に描かれているたくさんの生き物たち。ウサギやシカがこちらを見ているように大きく描かれたことも作者らしい工夫に感じました。私たちにできる、森のゴミを拾ったりするちょっとした活動、それが大事なことなんだよと、ウサギやシカが私たちに訴えかけているように感じました。</p> <p>・自然にゴミを捨てず、生き物たちが気持ちよく住めるきれいな環境にしようというメッセージを「私たちにできることから始めよう！」という前向きな言葉で表しています。笑顔でゴミ拾いをする2人の人物の周りには、穏やかな表情をした動物たちが描かれています。作者の優しい気持ちが伝わるポスターです。</p>
<p>優秀賞</p>	<p>・「豊かな水源」の文言どおり、春先の自然の様子が豊かに美しく描かれています。菜の花畑を斜めに工夫して描いたことで、作品を見ているこちらの方まで、その豊かな自然の中にいるようにさえ感じてしまいました。豊かな水源である雪がまだ残った後方の山々が、水を引いた田んぼに写っていることなど、作者らしい細やかな表現が目を引きまします。大切にしなければならない大自然のもたらす力を強く感じました。</p> <p>・田植えが始まる時期の水鏡のような田んぼに、新緑がまぶしい手前の山と奥にそびえる残雪の美しい山が映っています。息をのむような鮮やかな黄色の菜の花畑を斜めに入れることで構図に変化をもたせ、印象に残る素敵な作品に仕上がりました。雪解け水から美味しいお米が育つ、その環境を守り続けたい気持ちが伝わります。</p>
<p>全体</p>	<p>・環境問題について得た知識等も豊富となり、それらのことを基にして、考えたこと感じたこと、訴えたいことを高学年らしい工夫で個性豊かに表現しています。</p> <p>・作品に挿入されたレタリングの文言にも高学年らしい工夫や作者らしいアイデアを感じました。</p> <p>・描写力が一層上がり、動植物をよく観察して特徴を捉えていました。絵の具に加える水の加減を調整して質感や遠近感を表すなど、高学年につれて表現の幅が広がっていました。川の水の色、海の水の色、空の水色など、何度も混色を試して納得のいく色づくりをした様子が伺える作品や、ありのままの自然を描くことでその大切さを訴える作品など、それぞれの表現の違いがあり、見ごたえがありました。</p>

○中学校の部

<p>最優秀賞</p>	<p>・作者らしい発想で画面を斜めに大きく二分して、豊かに実った田園の様子と川の中の様子が描かれています。「美しい自然」は、私たちに豊かな資源ももたらしてくれます。そんな様子が、黄金色に実った稲穂や大きく描かれたサケから感じ取ることができました。たくさんの生き物たちを繊細に描いたことにも自然の美しさを感じることができました。中央に両手で抱えたハートを描くことで二分された画面が一つにまとまりました。</p> <p>・鮭やトンボ、ツバメなど、身近な生き物をよく観察して描いています。それぞれの生き物の質感まで感じさせるほど写実的に表現しており、見る者を圧倒させます。季節を感じさせる生き物や稲穂が実る黄金色に輝く田んぼの風景などを美しく丁寧に描くことで、新潟の自然を守っていこうという作者のメッセージが伝わります。</p>
<p>優秀賞</p>	<p>・「掲示板」として画面全体を構成したことが、作者らしい工夫・アイデアで見る人を引き付けてくれます。ピンで留められた、地球環境を破壊してきたエピソードが描かれたカードが、1枚1枚繊細に描き込まれ見る人の注意を引きます。こうしたこれまでの地球・人類のマイナスの思い出をこれからはみんなでもっと良いもの(思い出)にしていこうよと「掲示板」は訴えてきます。</p> <p>・写真が貼られた掲示板をモチーフにするという、独創的かつインパクトのある作品にです。描かれた写真の部分はどれも非常に細かく丁寧に描かれており、まるで本物の写真を貼ったかのようにも見えます。「思い出」をキーワードに、しっかりとテーマ設定された、表現力、発想力の豊かな作品です。</p>
<p>優秀賞</p>	<p>・青色を基調にした鮮やかな色づかいに目を引き付けられました。海面には陽の光が輝き、たくさんの魚たちが群れをなして泳いでいます。一見平和そうなこの海の中ですが、よく見るとたくさんのゴミが、恐ろしいことにマイクロプラスチックを口にくわえている魚もいます。マイクロプラスチックが、海洋汚染の大きな社会問題になっている今、「魚の命のため」私たちのすべきことが何かと強く訴えかけてきます。</p> <p>・まるで海の中にいるような構図で描かれた、印象に残るポスターです。魚の群れの先から太陽の光が降り注ぎ、穏やかで美しい海の風景が表現力豊かに描かれています。一見美しく見える海の中でも、底の方にはゴミやマイクロプラスチックのような破片が漂っており、海の中の深刻な状況や作者の思いが伝わってきます。</p>
<p>全体</p>	<p>・中学生らしい繊細な表現と十分な描き込みで、見るものを引き付ける作品がたくさん見られました。</p> <p>・レタリングの文言と画面構成が、十分に検討され、自分の訴えたいことが見る人によく伝えられるよう、表現方法を自分なりに工夫し、中学生らしい個性豊かな仕上がりの作品が見られました。</p> <p>・モチーフの形や色を正確に捉えて描かれた作品や、人物をシルエットで表すことで不特定多数を表現した作品など、それぞれの思いがより効果的に伝わるよう工夫して描いた作品が多く見られました。縦割りや斜め、見上げた構図など表し方は様々で、1つ1つのモチーフや構図、色づかいから「自分の伝えたいこと」を軸にした強いこだわりを感じさせる力作が多く見られました。</p>